

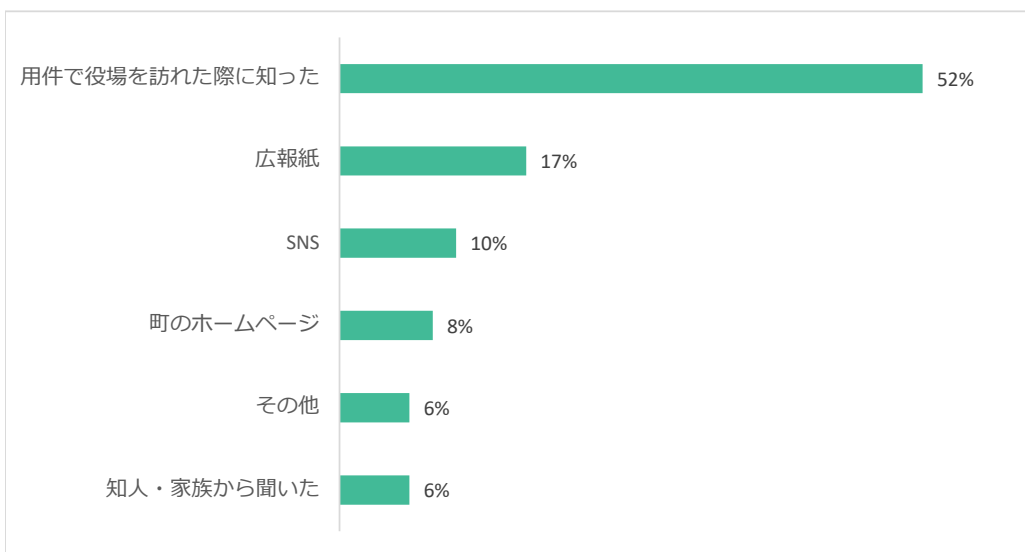
アンケート集計結果 ～リユース譲渡会について～

1 実施概要

- 【調査期間】 令和8年8月3日～8月31日
- 【調査対象】 リユース譲渡会参加者（持ち込み・持ち帰り）
- 【回答数】 48人（内訳：日本人34人、インドネシア人8人、バングラデシュ1人、
フィリピン人1人、ミャンマー人3人）
- 【回答方法】 紙・インターネット（内訳：紙47人、インターネット1人）

2 集計結果

Q1. 今回のリユース譲渡会を何で知りましたか？

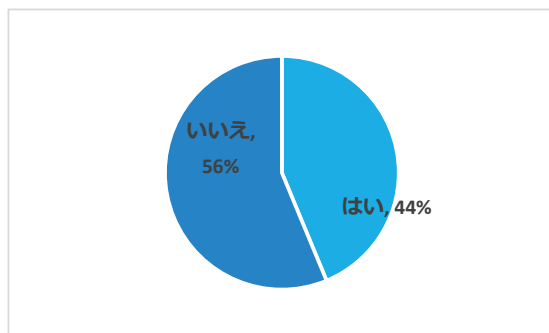


回答	人数	割合
用件で役場を訪れた際に知った	25人	52%
広報紙	8人	17%
SNS	5人	10%
町のホームページ	4人	8%
その他	3人	6%
知人・家族から聞いた	3人	6%
合計	48人	100%

（その他）

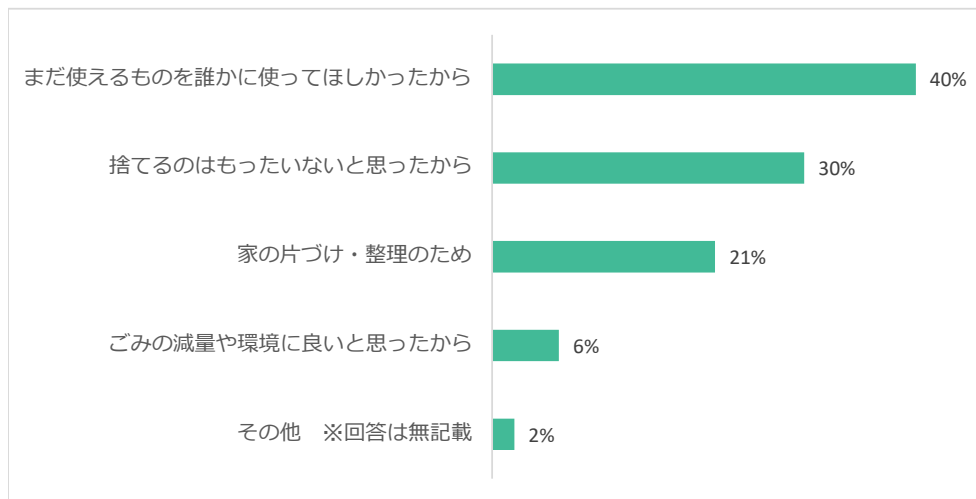
・新聞

Q2. 今回、リユース品を持ち込みましたか？



回答	人数	割合
はい	21人	44%
いいえ	27人	56%
合計	48人	100%

Q3. 今回、リユース品を持ち込んだ理由を教えてください。（複数回答可）



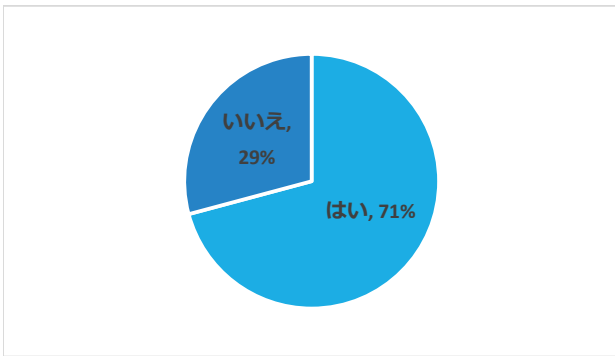
回答	人数	割合
まだ使えるものを誰かに使ってほしかったから	19人	40%
捨てるのはもったいないと思ったから	14人	30%
家の片づけ・整理のため	10人	21%
ごみの減量や環境に良いと思ったから	3人	6%
その他 ※回答は無記載	1人	2%
合計	47人	100%

Q4. 今回、お持ち込みいただいた寄付品にまつわるエピソードがあればお聞かせください。

（回答）

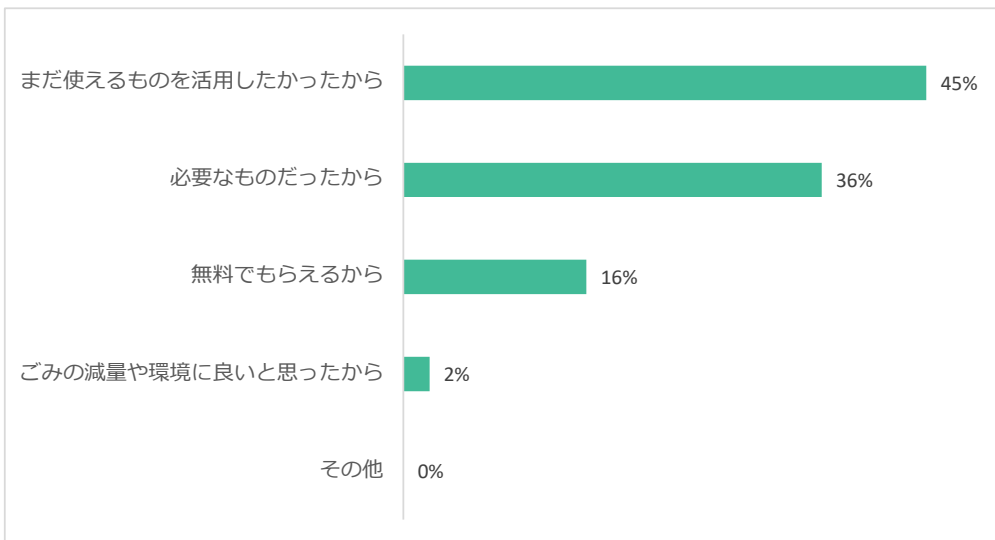
- ・初給料で初めて買ったカバンです。
- ・引っ越しをするときに片付けをしたので。
- ・バンドのユニフォームとして着ていました。バンドが解散したことから、今回持ち込ませていただきました。
- ・中学生になり不要になったが、誰かの役に立てばと思いました。
- ・テスト対策で繰り返し使った教科書ワーク。
- ・若い頃は、大変太っていましたので捨てるにはもったいなくて思っていました。

Q5. 今回、リユース品を持ち帰りましたか？



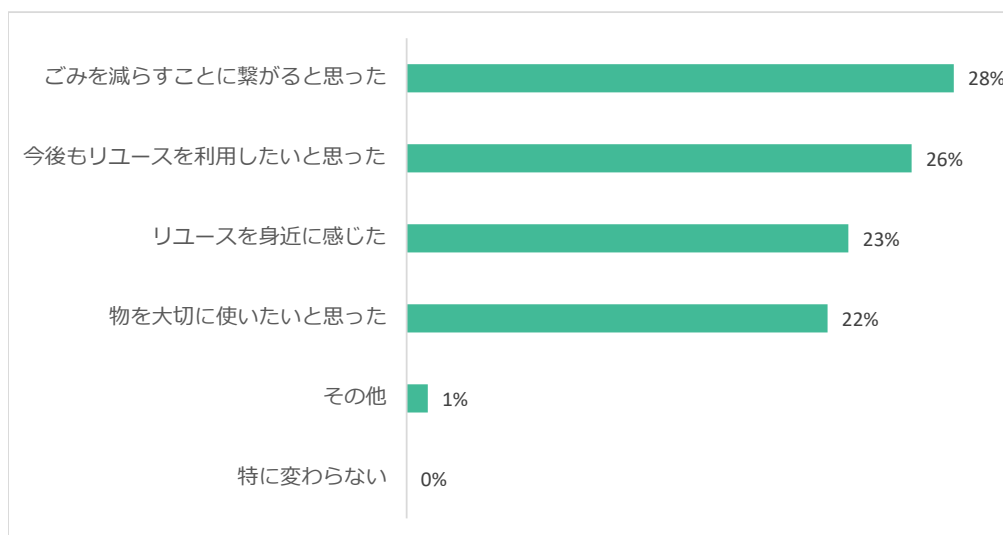
回答	人数	割合
はい	34人	71%
いいえ	14人	29%
合計	48人	100%

Q6. 今回、リユース品を持ち帰ろうと思った理由を教えてください。（複数回答可）



回答	人数	割合
まだ使えるものを活用したかったから	20人	45%
必要なものだったから	16人	36%
無料でもらえるから	7人	16%
ごみの減量や環境に良いと思ったから	1人	2%
その他	0人	0%
合計	44人	100%

Q7. 今回のリユース譲渡会を利用して、リユースやごみの減量についてどのように感じましたか？
（複数回答可）



回答	人数	割合
ごみを減らすことに繋がると思った	26人	28%
今後もリユースを利用したいと思った	24人	26%
リユースを身近に感じた	21人	23%
物を大切に使いたいと思った	20人	22%
その他	1人	1%
特に変わらない	0人	0%
合計	92人	100%

（その他）

- ・役場を身近に感じた。

Q8. その他、ご要望等がございましたらお聞かせください。

(回答)

インドネシア人

- ・この活動は非常に有益です。廃棄物の量を減らすだけでなく、他にも多くのメリットがあります。
- ・良かったです！
- ・良かったです。特に意見はありません。
- ・リユース活動はとても良く、有益です。提供されたアイテムはもっと必要とする人々に届けられることでしょう。
- ・リユース活動はとても有益です。必要な人に大変役に立っています。
今後、他の役に立つアイテムが増えて欲しいです。
- ・良かったです。特に意見はありません。
- ・このリユース活動は廃棄物削減に非常に役に立ちます。

日本人

- ・リユース品を使ってくれる人がいるのは、こちらもありがたいことだなと思います。
- ・大崎町のこの譲渡会は、大変良い事だと思います。今後どうぞ続けていってくださいませ。
- ・着れるものを増やしたかったから良かった。
- ・使用できるものは使用し、捨てるだけにしない。物を大切にしたいと思う。
- ・セカンドストリートのような実店舗では時間がかかるし、メルカリ等のアプリで売るほどのものではなく、でも使用はできるものなので、このような場は今後もあると助かる。
- ・利用できて嬉しかったです。シングルマザーなので、これからもたくさん活用したいです。
- ・とてもすばらしい取り組みだと思いました。
- ・自分もまだ使えるが不要なものを持ち込んでみたいと思った。
- ・必要なものが手に入ってうれしいです。ありがとうございました。
- ・できれば期間限定ではなく、常設してくれたほうが助かります。
- ・ありがとうございます。入国したばかりの外国人にとっては助かります。
- ・ごみではなく、誰かのお役に立ったら良いです。
- ・成長のため、後でいらなくなり困るので助かった。また、きれいに使ってリユースしたいです。ありがとうございました。

3 アンケート結果から見たこと

今回のアンケート結果は、本イベントが参加者のリユース意識の向上と、地域における資源循環の促進に大きく寄与していることを示している。

まず、実施したアンケートでは、持ち込み理由として「まだ使えるものを誰かに使ってほしかった」、持ち帰り理由として「まだ使えるものを活用したかった」という意見がそれぞれ最多であった。この結果から、不要になったものを廃棄せず、譲る側は「次の人に繋げたい」、受け取る側は「大切に活用したい」という、双方の「資源を循環させたい」という想いが参加動機の根底にあることが読み取れる。

また、アンケート回答者のうち71%もの人がリユース品を持ち帰った事実は、ある人にとっての「不要」が、別の人にとっては「必要」になり得ることを明確に示しており、これまでごみとして廃棄されていたものであっても、リユース譲渡会という場があれば、譲る側と受け取る側の「気持ち」と「需給」が合致し、価値を失わずに次へと活かされていく。現に、参加者からは「セカンドストリートのような実店舗では時間がかかるし、メルカリ等のアプリで売るほどのものではなく、でも使用はできるものなので、このような場は今後もあると助かる。」といった声も寄せられており、本イベントに対する住民の確かなニーズがうかがえる。

このように、大崎町役場がその架け橋となる場を提供することは、資源の有効活用を促進するうえで大きな役割を果たしていると考えられる。

さらに、アンケートの「ごみを減らすことに繋がると思った」「リユースを身近に感じた」といった回答からは、本イベントがリユースやごみ減量について主体的に考える契機となっていることが見て取れる。こうした機会は日本人住民に留まらず、近年増加している外国籍の住民の利用も多く見られ、同様にリユースに触れる場となったことがうかがえる。今後も国籍や年齢を問わず、誰もが気軽に利用できるリユースの場として、このような機会を継続して提供していくことが、持続可能な地域社会の実現に向けて極めて重要である。